



信州アーツカウンシル

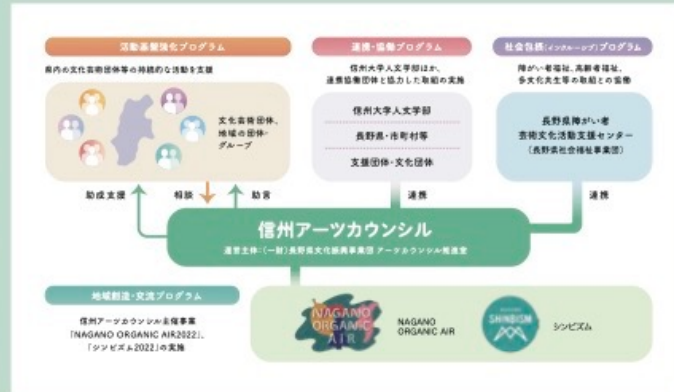
2023 交流会

アートを身近に 暮らしをゆたかに 様々な人が文化を創り 支え合う

信州アーツカウンシルとは

アートを身近に 暮らしを豊かに 様々な人が文化を創り 支え合う

信州アーツカウンシルは、地域の文化芸術活動の担い手を支援しています。信州・長野県豊かな風土や歴史文化、学びを大切に育む精神などから育まれる、多様な地域文化や文化芸術の創造性を、持続的に発展させていくことを目的として、令和4(2022)年度に設立されました。一般財団法人長野県文化振興事業団アーツカウンシル推進室(令和5年度より「推進局」)が発元主体となり、長野県、大学、公的機関、民間支援団体、市町村など多様な主体がゆるやかに連携しながら、地域・県民主体で行う文化事業の助成、相談・助言などの寄り添い型の支援を行っています。



広い県土に多様な地域性を有する長野県のアーツカウンシルとして、2つの観点を重視した文化芸術の環境づくりを進めています。

文化芸術の担い手を支援する

文化芸術の場を開く「担い手」を広く捉え、表現者、参加者、企画・運営者、支援者など、さまざまな人々を支援します。

信州の多様な文化芸術を、多様な主体が支える

県、大学、民間支援団体、市町村、個人、さまざまな主体が連携し、長野県の多様な地域文化を支援する環境づくりを行います。

これらの活動を通して、3つのミッションを達成していきます。

1 長野県全域において文化芸術活動の創造力・発信力を高める。

2 文化芸術活動のポテンシャルを社会の様々な領域に広げる。

3 長野県内の文化芸術活動が持続的に発展する環境を醸成する。

地域の文化芸術活動の担い手の支援

信州・長野県の自然豊かな風土や歴史文化、学びを大切に育む精神などから育まれる、多様な地域文化や文化芸術の創造性を、持続的に発展させる

- ① 活動基盤強化プログラム 【助成事業】
- ② 連携・協働プログラム
- ③ 社会包摂(インクルーシブ)プログラム
- ④ 地域創造・交流プログラム

● 文化芸術活動の担い手を支援する

● 信州の多様な文化芸術を、多様な主体が支える

沿革（長野県の文化施策の流れ）

2回

文化振興元年（2015）

長野県文化振興基金

長野県芸術監督団事業（2016～2021）

長野県文化芸術振興計画（2018～2022）



36回



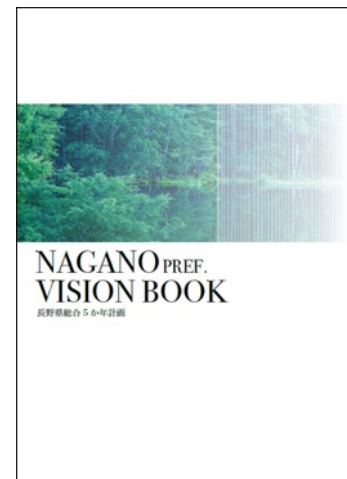
信州アーツカウンシル（2022）

第2次長野県文化芸術振興計画（2023～2027）

長野県総合5か年計画『しあわせ信州創造プラン3.0』

第4次長野県教育振興基本計画

にも“信州アーツカウンシル”の記載



令和4年度事業の概略

1 活動基盤強化プログラム

■令和4年度アーツカウンシル助成事業「文化芸術活動の創造性を生かす環境づくり支援プログラム」
 長野県の文化芸術の持続的な発展に資する可能性があり、チャレンジ精神や創意工夫の見られる活動で、自ら
 の問題意識に基づいて、社会における課題を設定し、さまざまな人や組織との連携・協働を行いながら取り
 組む活動を支援。(最大3年まで)
 ・募集期間:4月12日(火)~5月10日(火)
 ・応募件数・採択件数

P8からの活動報告をご覧ください

種類	想定する活動・支援	上限額・助成率	応募数	採択
A 活動推進支援 プログラム	・地域における文化芸術活動の定着や新たな実施 ・収益性に制約されないが他分野への波及が期待できる活動の 立上げ支援 など	500,000円 10/10以内	52	14
B 活動基盤強化 プログラム	・他分野や県内他地域に展開し県内での新たな活力創出に取 り組むもの ・定着や自走の可能性のある活動を寄り添い型で支援 など	3,000,000円 1/2以内 (一般管理費15%以内)	13	7

・事業期間:6月15日(水)~2023(令和5)年2月28日(火)
 ・支援総額:20,236,978円

2 連携・協働プログラム

- 信州大学人文学部との連携事業
 - ・学生への講義、シンビズム、NAGANO ORGANIC AIR 研修プログラムへの参加等
 - ・連携フォーラム「気候変動時代、未来を創造するアートアクション」開催(3月1日)
- 公益財団法人八十二文化財団との協働
 - ・シンビズム2022の共催、民俗芸能の保存継承に関する助成事業の支援等に関する情報交換等
- 公益財団法人長野県みらい基金との協働
 - ・団体への支援・資金調達における協力(「信州の特色ある学び」応援事業ほか)
- 南信州民俗芸能継承推進協議会との協働
 - ・第1回南信州民俗芸能フェスティバル(2月26日開催)への協力等

3 社会包摂(インクルーシブ)プログラム

- 長野県障がい者芸術文化活動支援センター「ザワメキサポートセンター」(長野県社会福祉事業団)との連携
 - ・連携会議を毎月開催し、情報共有と意見交換を行う
 - ・ザワメキアート展を共催・広報支援。コーディネーターによる展覧会設置へのサポートなど

P29をご覧ください

4 地域創造・交流プログラム

- NAGANO ORGANIC AIR 2022
 - ・県内8地域に10組のアーティストが滞在し、ホストのコーディネートにより、地域と有機的に関わりながら活動した
 - ・短期滞在型研修プログラム「生きることとアートの呼吸」で7名が5日間のプログラムに参加
 - ・東京・銀座NAGANOでアートと移住・関係人口に関するイベント開催(12月10日)
- シンビズム 2022
 「Re-SHINBISM1そして未来へ」
 - ・開催期間:10月6日(木)~23日(日)
 - ・会場:ギャラリー 82 (長野市)
 - ・来場者数:812名、出品作家15名、ワーキンググループ(県内美術館の学芸員等) 35名
 - ・対話鑑賞のプログラムの実施

P30~33をご覧ください

5 情報発信・認知度向上の取組

- ・信州アーツカウンシルキックオフイベント「信州の多様な文化芸術を、地域の持続的な未来につなぐ」開催(6月11日開催)
- ・県内各地域での説明会・相談会の実施(4月・10月・11月・2月)
- ・県立図書館3F(学び創造ラボ)にアーツカウンシル事業を発信する特設コーナーを設置

令和4年度事業の活動拠点

- Aプログラム 活動推進支援
- Bプログラム 活動基盤強化
- 連携協働プログラム
- 地域創造交流プログラム(NOA)
- 地域創造交流プログラム(シンビズム)



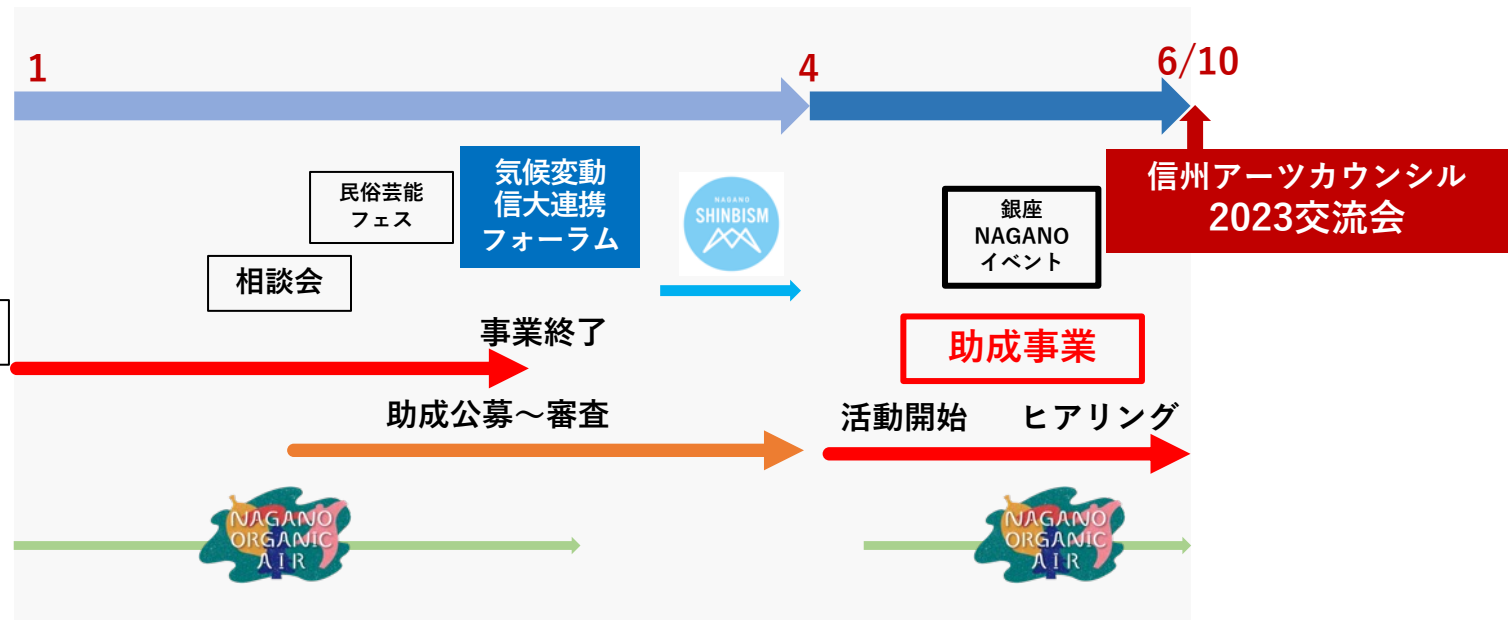
① 栄村 NOA 雪に染まる冬の支度
 ② 長野市 A-05 (株)さきわいクラシオン B-03 NPO 法人劇空間夢幻工房 NOA たまに集まるナガノなんでもバンド SBS シンビズム 2022
 ③ 上田市 A-13 NPO 法人リベルテ B-02 クラシック音楽に親しむ講座の会 B-04 (一社)シアター&アーツうえだ
 ④ 小諸市 A-14 わかも座
 ⑤ 軽井沢町 B-01 NPO 法人 油やプロジェクト B-06 まるっとみんなで準備室
 ⑥ 小海町 NOA Unseen Sea
 ⑦ 大町市 A-01 麻倉 Arts&Crafts NOA ふしぎうぶすなレジデンス @ 信濃大町 STRANGER THAN PHENOMENON
 ⑧ 安曇野市 NOA 踊るからだでみつめる安曇野のくらし
 ⑨ 松本市 A-03 おやこのカラダ A-07 JOS A-09 Torus Vil. A-10 人形芝居蒸組 B-05 まつもとフィルム commons 連携 アートアクション
 ⑩ 塩尻市 A-08 塩尻アーティストインレジデンス実行委員会
 ⑪ 木曾郡 NOA 木曾めぐるナンチャラホーイ
 ⑫ 茅野市 A-06 NPO 法人 サポート C NOA みちのちのダンススケープ
 ⑬ 諏訪市 A-04 (一社) 大昔調査会
 ⑭ 辰野町 B-07 (一社) Oと編集社
 ⑮ 伊那市 A-11 NPO 法人ふるさと芸術研究所
 ⑯ 天龍村 A-12 向方芸能部
 銀座 NAGANO (東京都) 「信州で活動しませんか? 芸能・文化・アート×移住定住・関係人口の取組をご紹介します」※ P36 をご覧ください

信州アーツカウンシル、1年の時間

2022



2023



信州アーツカウンシル、1年の成果

関係した団体
197団体

- ・ **連携、協働、共創のパートナーとなる担い手の蓄積**
- ・ 県内10地域のすべてに協働／支援相手が存在
- ・ 市町村や県部局との共催／協力関係構築も進展

様々な
活動テーマ

- ・ **分野横断＝福祉、教育、まちづくり、気候変動 等**
- ・ 伝承文化の継承・復活、地域コミュニティとの関わり
- ・ ダイバーシティ推進や、共創に関わる取組

申請・相談・
問い合わせ
増加

- ・ **助成応募件数増**(65→93件)、**相談対応の増加**
- ・ 報道、議会等での取上げが少ない割に浸透している
- ・ 文化庁はじめ、県外関係機関からの関心が集まっている

① 活動基盤強化プログラム

アーツカウンシル助成事業

文化芸術活動の創造性を生かす環境づくり支援プログラム

種類	想定する活動・支援	上限額・助成率	選定団体数
A 活動推進支援 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域における文化芸術活動の定着や新たな実施 ・ 収益性に馴染まないが他分野への波及が期待できる活動の立上げ支援 …など 	500,000 円 10/10 以内	R4 : 14団体 R5 : 27団体
B 活動基盤強化 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他分野や県内他地域に展開し県内での新たな活力創出に取り組むもの ・ 定着や自走の可能性のある活動を寄り添い型で支援…など 	3,000,000 円 1/2以内 (一般管理費 15%以内)	R4 : 7団体 R5 : 10団体

R4は、21団体への支援

R5は、37団体への支援

令和4, 5 年度支援事例の特徴

<p>子どもを 対象とした取組</p>	<p>障がいのある方 と関わる取組</p>	<p>高齢者と 関わる取組</p>	<p>文化芸術の場 アート拠点づくり</p>
<p>伝統文化や文化財 の保存・継承に 関わる取組</p>	<p>地域連携 分野を越えた コラボレーション</p>	<p>アートに 従事する人材の 育成に繋がる取組</p>	<p>環境持続可能性の 課題に関わる 取組</p>

つながるサーカスワークショップ 障害の有無や世代、地域を超えて多様な人々がソーシャルサーカスでつながるプロジェクト

団体所在地/松本市 MAP A-07



1.リベルテとの事前交流。サーカスのメイクで心が開いた参加者も 2.松本市波田でのワークショップ。皆で息を合わせよう
3.報告会でのシンポジウムの模様

団体概要/
金井ケイスケ氏が2013年
から開始した松本ジャグ
リングクラブを前身とし、
2021年に設立。サーカスや
ジャグリングによる社会
貢献活動からアーティスト
のイベント出演までを
マネジメントしている。

活動内容

- 7/10
ソーシャルサーカスワークショップ
連携:リベルテ 会場:犀の角(上田市)
- 8/2~4
ソーシャルサーカスワークショップ
連携:ほっちのロッテ(軽井沢町)
- 9/3
ソーシャルサーカスワークショップ
連携:波田コミュニティデザイン
クラブ
会場:松本市西部保健センター
- 11/4
報告会
・信州ユースサーカスパフォーマンス
・SLOW LABEL代表・栗栖良枝さん
レクチャー
・シンポジウム
会場:信毎メディアガーデン(松本市)

コーディネーターより
出会ったばかりの人とあっという
間に打ち解けて、一緒に安心した楽
しい時間を過ごせる。参加してみ
てソーシャルサーカスの力に驚いた。
この体験と気づきがより多くの人
に広がってほしい。(野村政之)

向方掛け踊り復活事業/お盆行事の伝承

団体所在地/下伊那郡天龍村 MAP A-12



1.「向方掛け踊り」復活成った直後の集合写真 2.掛け踊り
3.切子灯籠を持った区長さんを先頭に、第と太鼓を鳴らしながら長松寺に向かう「麓入り」

団体概要/
冬の例祭「向方お盆め祭
り」(国指定重要無形民俗
文化財)ほか地区の芸能を
担う。継承が難しくなる
なか、地域の存続にと
つての芸能の重要性を鑑み、
「保存会」ではなく「芸能部」
との名称で活動している。

■ 16年ぶりの「向方掛け踊り」復活成る!

天龍村向方地区の盆行事「向方掛け踊り」は、少子高齢化による担い手不足で2006(平成18)年を最後に途絶えていた。冬の例祭「向方お盆め祭り」は一度途絶えた後、慣習を改めたり、外部から担い手を受け入れたりなどをして、現在も継承を試みている状況にある。今回、冬の例祭協力者から話が持ち上がり、最後の笛の伝承者からの声もあって、地区住民有志と、お盆め祭り参加者を中心とした地区外の有志により、本事業が立ち上がった。掛け踊りには13名以上の担い手が必要だが、村外・県外に散らばる有志は、6月からLINEなどを介して文書や映像などの資料を共有し、各々練習をした。7月末には向方に集まって現地での合同練習を行った。

8月14日夜、長松寺において、「向方掛け踊り」復活と成った。林業に関係していた若者や、ちょうど帰省した出身者も合流して、行事に参加することができた。地縁のない者にとっても関わりやすかったのは、地区の有志が「完璧でなくてもやってみる」という姿勢であったことが大きいようだ。

普段は寺まで来ない住民も足を運び、近年にない人の集まりとなった。なかには来年やってみよう、笛で参加してみたいなど、さまざまな反応があったという。準備から復活のプロセスで、今後の参加者にとっての参考資料や記録が収集されたことも1つの成果だといえる。より多くの住民の「やりたい」という思いが、継承の土台となる。

また、事業を推進した方が天龍村に関わったきっかけの1つは「信州つなぐラボ」(長野県の関係人口創出事業)であったという。地域課題へのさまざまな取組が溢れつつ、祭りが継続し、地域コミュニティが存続することを願う。

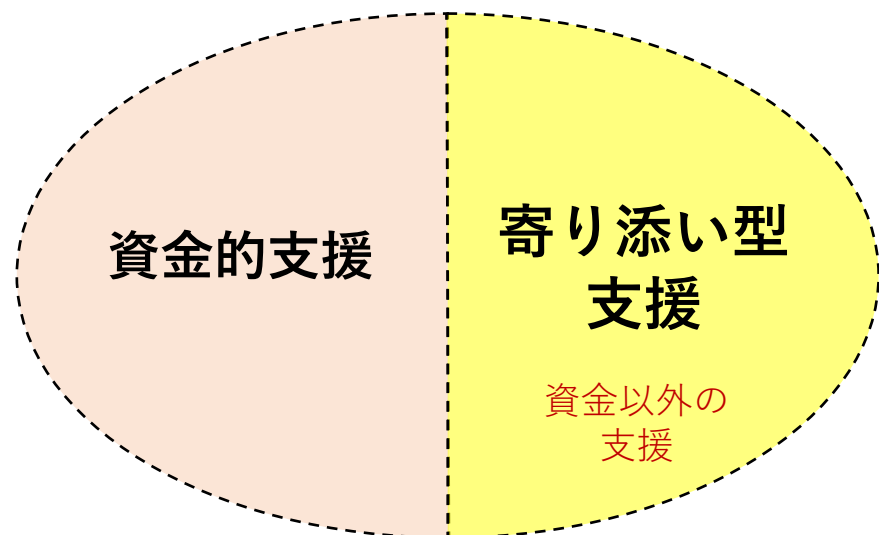
活動内容

- 6/2 笛のレクチャー動画共有(LINE及びメール)
- 6/21 過去映像共有(LINE及びメール)
- 6~7月 個別練習
- 合宿
7/29~31 稽古、道具修繕等
8/12~14 稽古・準備
- 8/14 掛け踊り実演
- 10月 フォトアルバム制作

「天龍つなぐラボ」noteにレポート
記事掲載
<https://note.com/terryyutsunagula/n/nb850e2b0dbc8>

コーディネーターより
地域の民俗芸能/無形文化財の継承を
どのように支援するかという問いは
深い、お金の支援が一番の助けになる
わけではないからだ。そのことにつ
いて信州IAC(地動)1年目から取り組ま
せていただいた。考え続けたい。(野村政之)

助成事業での「寄り添い型支援」



担い手の活動地域に赴いて、ヒアリング

- ・活動環境をリサーチ
- ・信頼関係の構築

活動への伴走
随時の相談

イベント等の開催
立会い
振り返り

精算手続き

支援者や新たな担い手との出逢い

新たな課題の発見

担い手にとっての課題を知る

支援方法の発見・改善

経験の共有 = 応援

相談しやすい関係性
「応援」の姿勢

→ 応援されている実感
活動への自信・責任感

新たな可能性の提示
より良い活動方法の提案

→ 2年目の事業計画
レベルアップ

スキルアップを後押し

→ 他の資金や委託事業を
受けられる団体へ

担い手の運営力向上を見守る

課題に共に取り組みながら、新たな支援方法・リソースを探究

NAGANO ORGANIC AIR

「NAGANO ORGANIC AIR」は、さまざまなジャンルで活躍するアーティストが、長野県内の各地域に滞在し、創造活動を行うアーティスト・イン・レジデンス（AIR）の取組です。公立文化施設や地域の文化芸術団体、教育委員会などがホストとなり、地域での創作のプロセスをコーディネートしながら、アーティストとの双方向的な協働を試みる取組を、2021年度から行なっています。「ORGANIC = 有機的」をキーワードに、アーティストの創作意欲を刺激するローカルな営みとの出逢いにフォーカスした滞在制作を実施。2022年度は長野県内8郡市町村にて8組11名のアーティストが、各地の自然や風土、食や歴史文化をさまざまに反映した、地域色ゆたかな活動を展開しました。



例えば、栄村に滞在した行橋智彦さんは、村内に湧く泉質の異なる温泉と、野山の植物を採集し染物作品を制作、冬の雪の中で展示しました。また、小海町に滞在した音楽家の蓮沼執太さんは、地元中学生と協働して千曲川とその支流のフィールドレコーディングを行い、川の流れて海にまつわるサウンドインスタレーション作品の制作を行いました。他にも、諏訪市の御柱祭や大町市の若一王子祭りなどの祭事への立会いや、木曾踊りや新野の盆踊りなどの体験、八ヶ岳登山、伝統食づくりなど、アーティストの滞在を通して「アート」と「地域」それぞれが持つ可能性がさまざまな形で立ち上がってきているのを感じることができました。

NAGANO ORGANIC AIR では、これからも長野県におけるアートの創造活動の可能性を育み、地域に有機的に広げ、持続的な環境づくりにつなげていきます。

PROJECT

2022年度
実施プロジェクト



7 木曾めぐるナンチャホーイ

ARTIST 弘道かび、野達
HOST 木曾 AIR ネットワーク

公募により選出された劇作家・演出家の私達かびと美術家の野達が木曾町全域にて滞在制作を実施。木曾の「祭り」に着目したリサーチ・作品発表を行った。



1 雪に染まる冬の支度

ARTIST 行橋智彦 (染まる職物カンメイティン)
HOST 栄村公民館
日本有数の新雪地帯である栄村に、温泉染作家の行橋智彦が滞在。栄村の温泉を使って羊毛を染め、キノコのオブジェを制作。雪のかまくらにて展示した。



3 ふしぎうぶすなレジダンス - 信濃大町 STRANGER THAN PHENOMENON

ARTIST 横山彰乃
HOST 信濃大町アーティスト・イン・レジデンス
ダンサー・振付家の横山彰乃が出身地である大町市に滞在。幼少期に訪れ印象に残っていた商店街の空き店舗でダンスパフォーマンスを披露した。



5 Unseen Sea

ARTIST 蓮沼執太
HOST 小海町高泉美術館

日本一長い川・千曲川(信濃川)の運流部に位置し、「海」をその名に持つ小海町に音楽家の蓮沼執太が滞在。海・川・湖など水環境に着目した制作を行った。



8 短編演劇「新野物語」ツアー 2022

ARTIST 山田百次
HOST 新野だら実行委員会

2021年に引き続き劇作家・俳優の山田百次が滞在。阿南町の伝統芸能「新野の盆踊り」を題材とした演劇「新野物語」を阿南町・売木村で上演した。



2 たまに集まるナガノなんでもバンド

ARTIST 頼田大志
HOST R-DEPOT キャンププロジェクト
作曲家・演出家の頼田大志が、一般公募による参加者とともに18人の大所帯ポップバンドを結成。長野市のまちづくりの新拠点・R-DEPOTにてライブを実施した。



4 踊るからだでみつめる安曇野の暮らし

ARTIST ...[アマリイチ]
HOST 安曇野市教育委員会
ダンサーユニット...[アマリイチ]による安曇野市滞在2年目のプロジェクト。「アーティスト・イン・スクール」など小中学校で滞在制作を実施した。



6 みちのちのダンススケープ

ARTIST 森下真樹、石川直樹
HOST 茅野市民館

ダンサー・振付家の森下真樹と写真家の石川直樹による3年プロジェクトの2年目。御柱祭や八ヶ岳登山などのリサーチを実施。2月にはその成果発表を行った。



【短期滞在研修プログラム2022】

生きることとアートの呼吸
~ Breathe New Life
一般公募による参加者5名と信州大学の学部生2名を対象とした5日間の研修プログラム。信州アーツカウンシルの助成事業や県内のアート拠点を訪問した。

●詳細な活動の様子ならびに「NAGANO ORGANIC AIR 2022ドキュメントブック」は、Webサイト (<https://noa.nagano.jp/>) でご覧いただけます。

信州で活動しませんか？ 芸能・文化・アート×移住定住・関係人口の取組をご紹介 ～阿南町・新野だら実行委員会 × 信州アーツカウンシル



地域文化と移住や関係人口のつながりについてご紹介するイベントを、長野県企画振興部信州暮らし推進課の共催で開催しました。下伊那郡阿南町新野にフォーカスし、NAGANO ORGANIC AIRの取組、ホストの新野だら実行委員会さんが行うイベント、新野から☆元気にしまい会による移住や山村留学の支援のお話に、新野の盆踊り・雪祭り(笛)の実演を添えた楽しい会になりました。

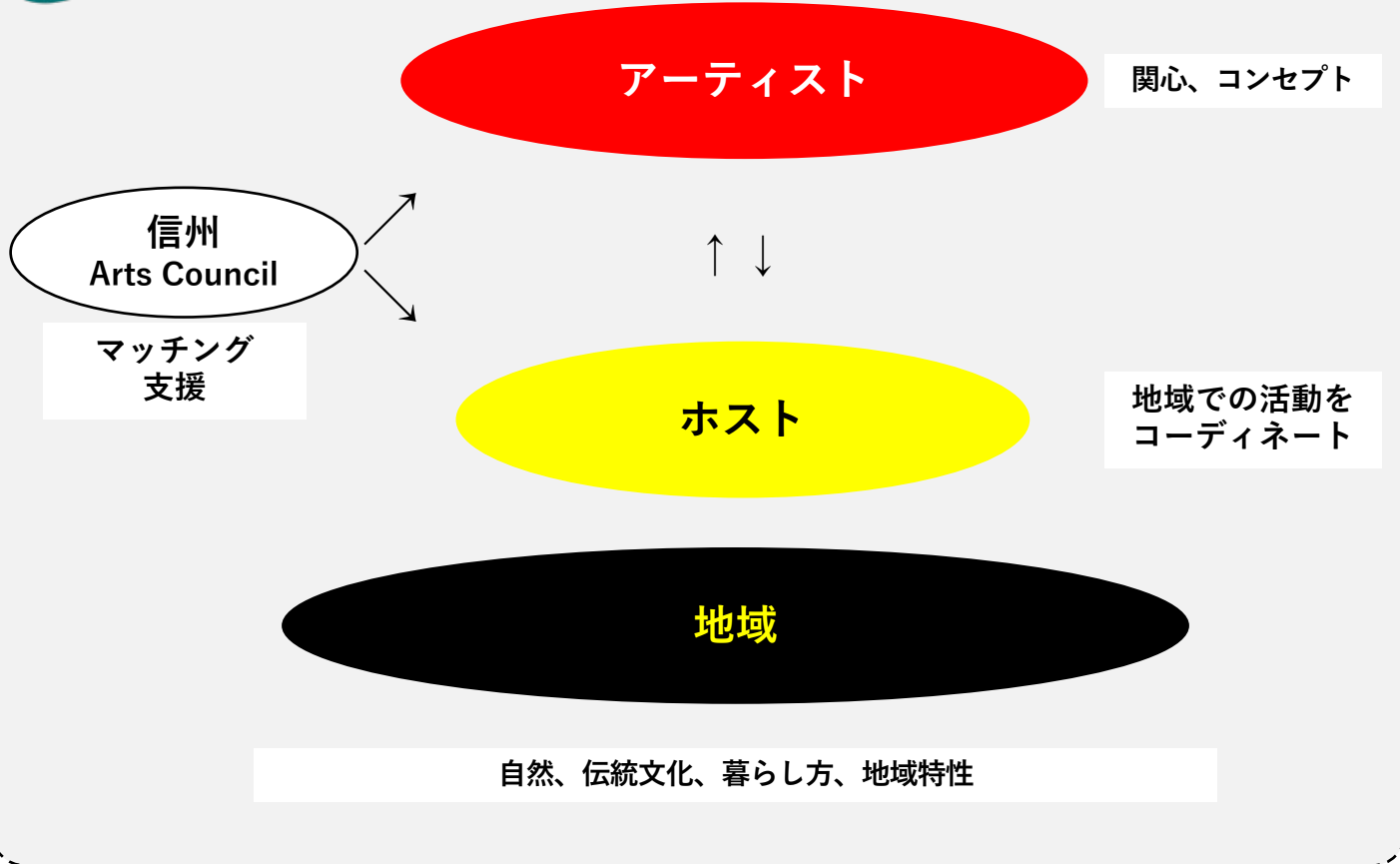
ちょうど、新野の盆踊りのユネスコ無形文化遺産「風流踊」登録決定直後でもあり、多くの方に関心を寄せていただきました。今後も信州アーツカウンシルの出前イベントを行っていききたいと思います。

県 信州暮らし推進課との共催

**令和5年 5月14日(日)にも銀座NAGANOで
「アート×移住・関係人口」のイベントを開催**

NAGANO ORGANIC AIR

全県域でのAIRの環境づくり



- ・主に国内アーティスト(一部公募)
- ・各地域の「ホスト」が受入
- ・複数回に分けて20日ほど滞在
- ・地域交流企画を実施
- ・成果発表はしなくてもよい
- ・旅費滞在費、制作サポート費

アーティストとローカルな営みの
「刺激的な出逢い」にフォーカス

地域での文化芸術の担い手として
ホストの活動を後押し

令和5年度事業（概要）

- | | |
|----------------------|---|
| 1 活動基盤強化プログラム | 助成総額 3,500万円（R4：2,000万円）＝助成継続＋新規事業の37件 寄り添い型支援 |
| 2 連携・協働プログラム | <ul style="list-style-type: none">・脱炭素・循環型社会を引き寄せるアート・アクション →信州大学人文学部
＝「Shinshu Arts-Climate Camp」の取組み・伝統文化の支援に向けた連携体制構築 →八十二文化財団・南信州民俗芸能継承推進協議会・他地域アーツカウンシルとの連携・協働 →アーツコミッション・ヨコハマとの協働・文化芸術への寄付促進 →長野県みらい基金との連携 |
| 3 社会包摂(インクルーシブ)プログラム | <ul style="list-style-type: none">・ザワメキサポートセンター（長野県社会福祉事業団）との協働
定例会議／ザワメキアート展／障がいのある方の作品のレンタルに関する連携の検討 |
| 4 地域創造・交流プログラム | <ul style="list-style-type: none">・シンビズム5 → 会場：山ノ内町、東御市、小海町、伊那市高遠
対話型鑑賞を各館で行うとともに、学校でも取り組めるような環境づくりに繋げていく・NAGANO ORGANIC AIR → 大鹿村+1ヵ所主催／茅野市・安曇野市・大町市の取組に共催
短期滞在型研修プログラム 県内のAIRポータルサイトに移行していく |
| 5 CULTURE.NAGANO運営 | 「CULTURE.NAGANO」県文化政策課と共同運営 →専門性を生かし情報収集発信、特集記事の向上 |
| 6 アーツカウンシルの認知度向上の取組 | 信州アーツカウンシルの情報発信基盤整備：ウェブサイト、ロゴ、パンフ、アニュアルレポート等
交流イベント等の開催：銀座NAGANOでのイベント（移住・関係人口）、年1回採択団体交流会
相談窓口の常設化：ウェブサイトからのオンライン相談、定例的な相談会実施と調査活動
市町村との連携：市町村文化事業への支援を通じた関係強化 →R6以降の人材交流等の検討 |

文化庁 令和5年度 文化芸術創造拠点形成事業 の補助金を受けています

アートを身近に 暮らしをゆたかに
様々な人が文化を創り 支え合う

信州 アーツ カウンシル

SHINSHU Arts Council



2023 GUIDEBOOK

地域の文化芸術活動を応援しています

令和5年度 連携・協働プログラム

脱炭素・循環型社会を引き寄せるアート・アクション
Shinshu Arts-Climate Camp

信州大学人文学部

伝統文化の支援に向けた連携体制の構築

(公財)八十二文化財団

南信州民俗芸能継承推進協議会

他地域のアーツカウンシルとの連携・協働

アーツコミッション・ヨコハマ

文化芸術への寄付促進／資金調達の検討

(公財)長野県みらい基金

ほかにも年間通じて様々な連携を検討

キャンプ

随時開催
自主的自発的な活動

会議

4回開催
柱となるトピックの学び

Shinshu
Arts-Climate
Camp

信州の文化芸術と気候会議

総会

展示・講演/様々な発表
信州アーツカウンシルの
環境コミットメント

報告

SNS、ポッドキャスト、
ZINE、ドキュメントブック

- 案内人
金井直（信州大学人文学部 教授）
ロジャー・マクドナルド（インディペンデント・キュレーター／信州アーツカウンシルアドバイザーボード）
- コーディネーター／事務局
信州アーツカウンシル（野村政之、伊藤羊子、佐久間圭子、藤澤智徳、小野佳奈）
信州大学（大司百花、中野多恵）



p.36

2023.3.1 信州AC×信大人文連携フォーラム

2023.7.4 第1回会議@信州大学人文学部
信州発、アートとゼロカーボンの明日へ

2023.10.1 第2回会議@上田市

第3回会議

第4回会議

2024.3 第1回総会
信州アーツカウンシルの環境コミットメント

キャンプ

地域・学生
自主的なグループ
県内各地

報告

SNS、ZINE
ポッドキャスト等
事務局&学生の連携？
ドキュメント
編集

環境コミットメント草案まとめ作業

Shinshu Arts-Climate Camp とは

Shinshu Arts-Climate Camp は、
文化芸術の視点から気候変動や地球環境の課題を見つめ、
信州・長野県において行われている様々な取り組みを知り、取り組んでいる人に学び、
共に考え、変化していく、コモンスペースをつくっていかうというプロジェクトです。

この課題に関して何か行動している人、しようと考えている人は誰でも参加者になれます。
参加者の皆さんが開く集い、表現や学びあいの場、1つ1つが、
Shinshu Arts-Climate Campの「キャンプ」の1つ1つになります。
規模の大小は問いません。

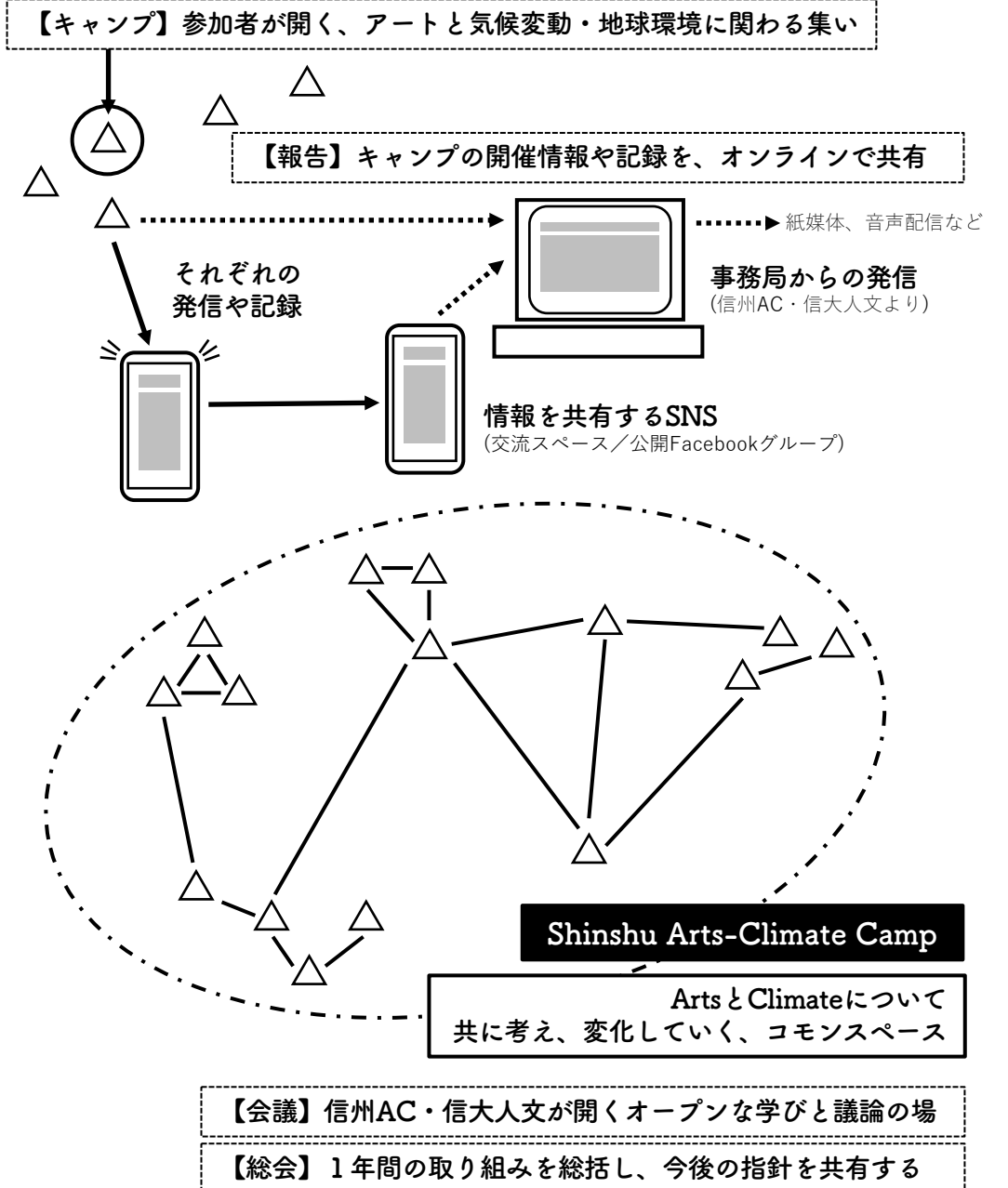
夜空の星を繋ぎ、星座を描くように、
広い信州の其処此処で営まれる「キャンプ」の「報告」を交わしあい、
人とアイデアのネットワークをかたちづくりたいと思います。
また、そうして繋がりあう人々が問いを共有し、互いに学び深めるための
「会議」を並行して行っています。

どのように、環境と関わりながら、文化、芸術はあるのか、あるべきなのか。

山と川のあいだに住まい、自然と深く関わりながら日々暮らす、
信州・長野県からのアート・アクションとして、日本全国、世界との交信を図ります。

まず興味をもったら、
Shinshu Arts-Climate Campのオンライン／オフラインの場所にアクセスしてみてください。

様々な皆さんの参加、皆さんとの出会いを楽しみにしています。



●案内人より

アートとはできあがった作品のことだけではありません。行為・実践として私たちの日常に浸透し、世界との関係を更新する、あるいは、そこに新しい回路を開く、生きる技術であり、また生きられた経験でもあります。そのかたちは既存の芸術ジャンルの枠や価値観をしばしば超えて、関心も社会や地球、生命、未来へと広がっていきます。アーツ・クライメート・キャンプは、そうしたアート本来の拡張性や媒介力を支えに、とりわけ今日的な課題である環境や生態系、気候変動についての、私たちの意識や行動の変容を喚起する試みです。

一方、そのキャンプが築く場所と人の関係が、アートの概念自体を拡張することも大切です。環境を問うことが、アートの生態系を問い返すことにもつながるわけです。そのようなアートと環境をめぐる実践の循環ないし相互作用を、ここ信州とともに実現し、分かち合っていければと思います。その一歩としての「キャンプ」。とても日常的なことでもよいはずですが、むしろ日常を開くこと、読み換えることこそがキャンプ。ぜひご一緒しましょう。

金井 直

芸術は連綿と続いてきた人類の大事な共同遺産だと思います、コモنزです。私たちの想像力、鑑賞力、回復力や心のケアは、深くアートと関係してきました。今、このアートのコモنزが置かれている、地球環境のコモنزは、大きく変わっています。温暖化をはじめとする、様々な地球のシステムの変化が起きています：生命の多様性の減少、土壌劣化、海洋酸性化など、私たちの比較的安定した暮らしを今まで支えてきたいろんなシステムが大きく変わっています。これを「気候危機」と呼んでもいいかもしれません。

このような状況の中、アートのコモنزは何をできるのでしょうか？破壊的なシステムに加担せず、アートは私たちの重要な見方や道具になれると思います。個人でできること、地域でできること、そして芸術を愛する人たちとしてできることはたくさんあると思います。この可能性をみなさんと一緒に考え、アクションに落とししていくのが「信州アーツ・クライメート・キャンプ」です。共同的な喜びと実践を持って、アートのリーダーシップ的役割を長野から発信していきたいです。

ロジャー マクドナルド



①Shinshu Arts-Climate Camp 交流スペース

参加者が自由に情報共有をする場。Facebookのアカウントをお持ちの方は皆さん登録、投稿ができる公開グループです。

<https://www.facebook.com/groups/shinshu.arts.climate.camp>

②Instagram

Shinshu Arts Climate Camp の動きを、投稿やストーリーズ、Liveなどで伝えます。事務局から広報や記録の発信を行います。

https://www.instagram.com/shinshu_artsclimate_camp/

③Facebookページ

Shinshu Arts Climate Camp の動きを、投稿、シェア、ストーリーズなどで伝えます。事務局から広報や記録の発信を行います。

<https://www.facebook.com/shinshuartsclimatecamp>

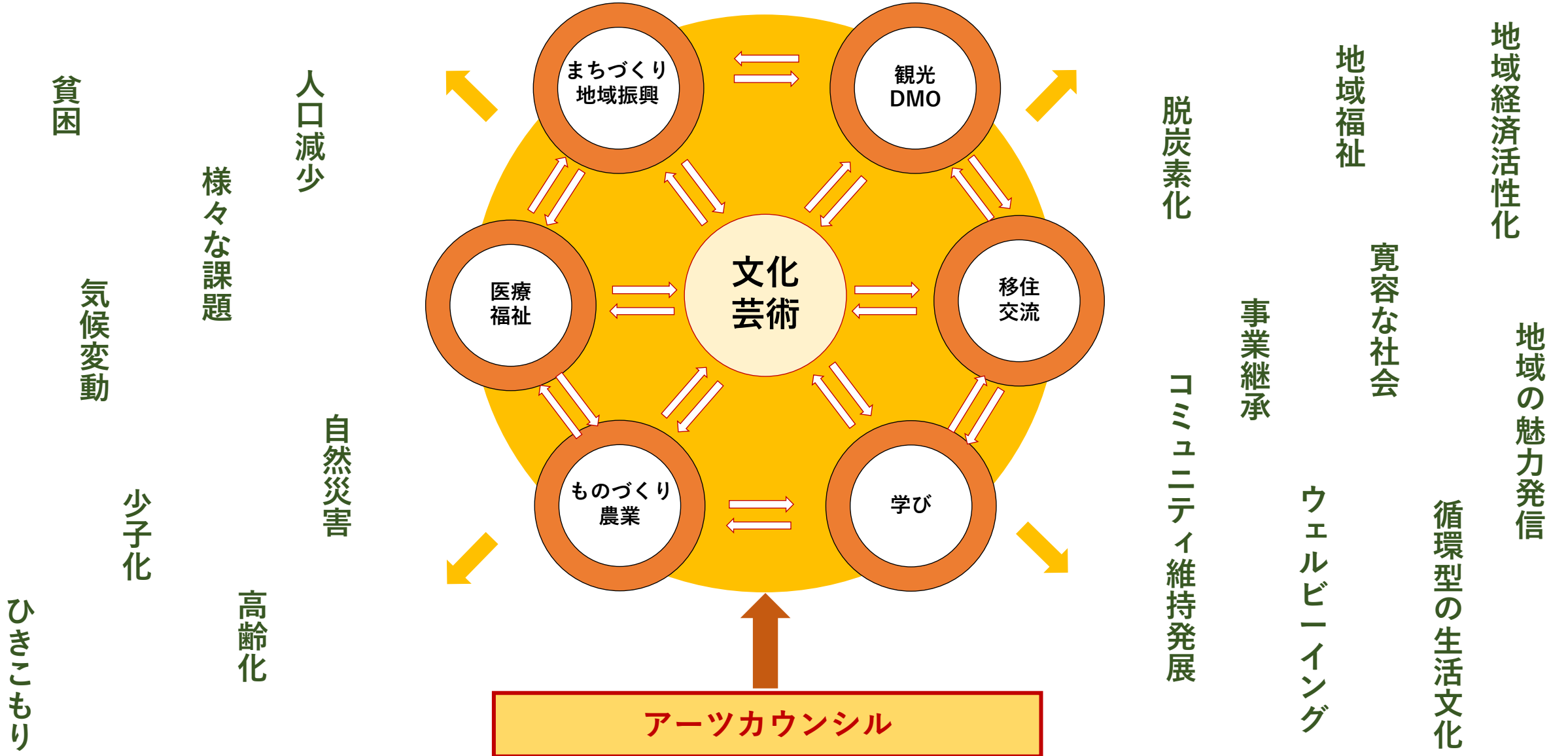
④note

主にShinshu Arts Climate Campの活動の記録を蓄積していきます。

https://note.com/artsclimate_camp

※今後Podcastのプラットフォームなども準備していきます。

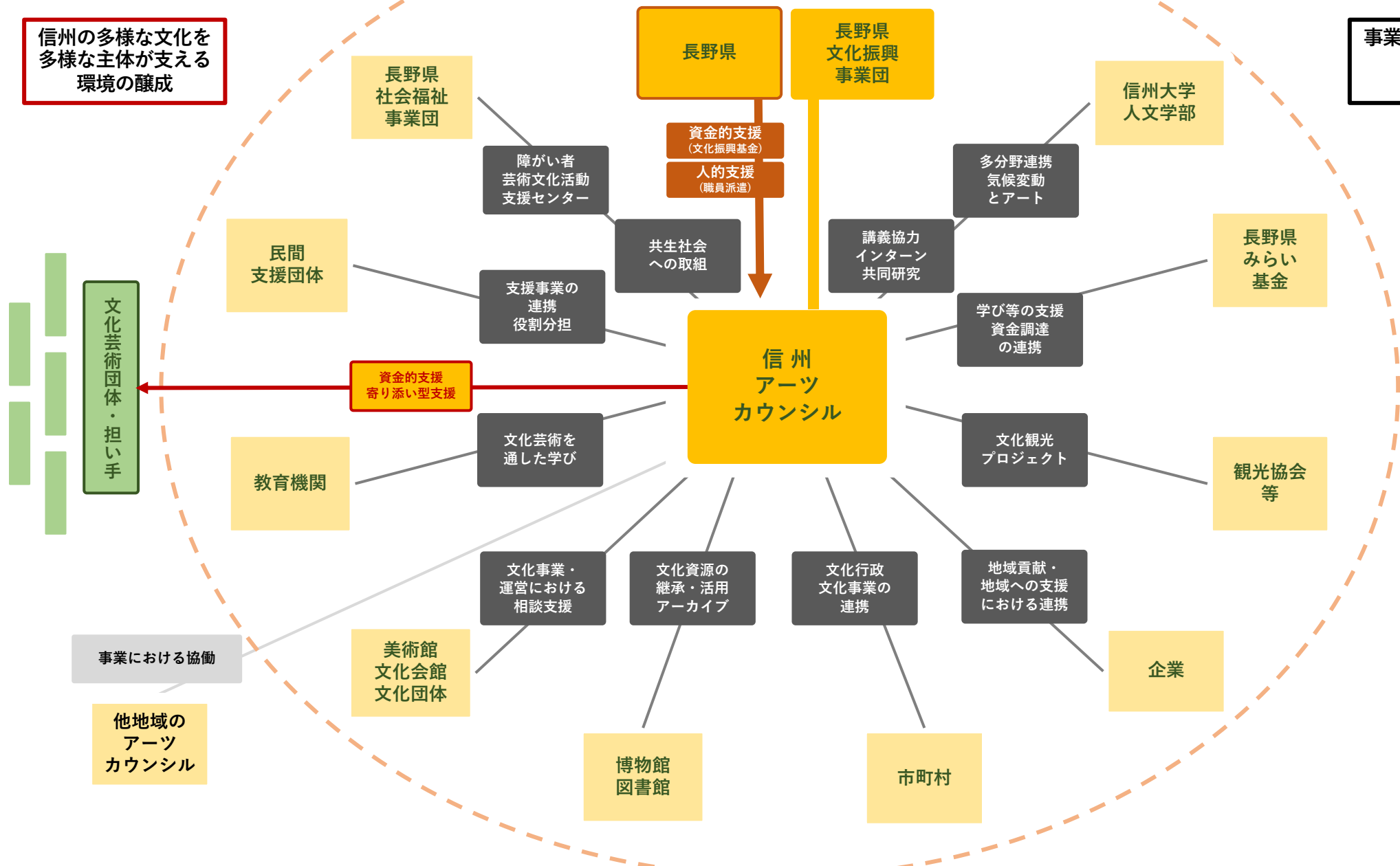
文化芸術を媒介に協働する 自治のシミュレーション



信州アーツカウンシル 連携のモデル

信州の多様な文化を
多様な主体が支える
環境の醸成

事業・具体的な取組
を介した
連携・協働



パートナーシップの束

【県組織】

信州アートカウンシル
連携のモデル

信州の多様な文化を
多様な主体が支える
環境の醸成

事業・具体的な
取組を介した
連携・協働

長野県
県民文化部
文化政策課

健康福祉部
障がい者
支援課

企画振興部
広報・
共創推進課

ザワメキ
サポート
センター

長野県
みらい基金
寄付・共創

環境部
環境政策課

くらしふと
信州
気候変動

移住定住
銀座NAGANO
5F

企画振興部
信州暮らし
推進課

信州
アートカウンシル
アートカウンシル
推進局

文化観光
DMO
観光機構

公園活用
空き家
UDC信州

建設部
都市・まち
づくり課

観光部

南信州
民俗芸能継承
推進協議会

文化資源
アーカイブ
歴史館図書館

アートの手法
を活用した
学び

企業との連携

産業労働部

【例】長野×沖縄
交流連携協定

南信州
地域振興局

教育委員会
文化財・
生涯学習課

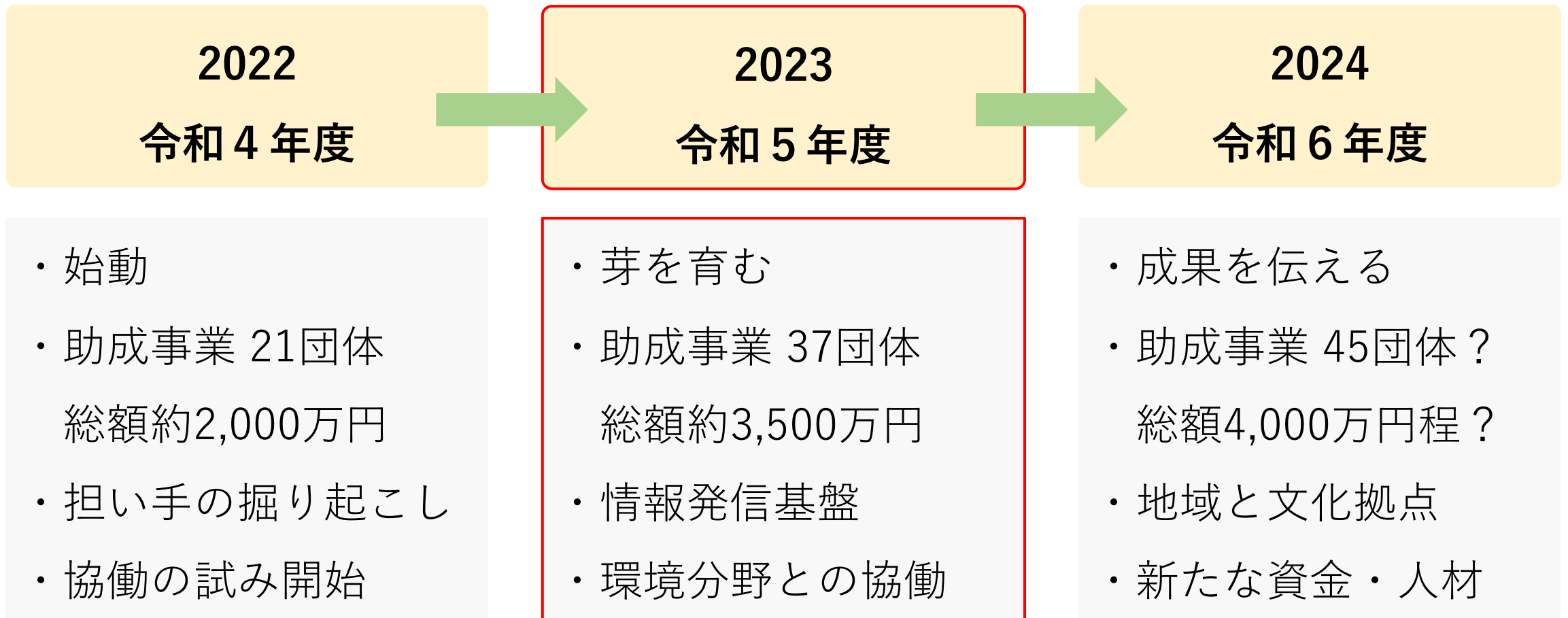
教育委員会
学びの改革
支援課

県民文化部
県民の学び
支援課

他地域のAC
(沖縄)

パートナーシップの束

3年の視点



文化庁 文化芸術創造拠点形成事業 の補助 (3年)

第2次長野県文化芸術振興計画 (5年)